

将に天下を取らんと欲して之を為すは、吾其の得ざるを見るのみ。
天下は神器なり。為すべからず、執るべからず。為す者は之を敗
り、執る者は之を失う。凡そ物、或いは行き或いは随い、或いは歎
し或いは吹き、或いは強く或いは羸く、或いは培い或いは隳つ。是を
以て聖人は、甚を去り、奢を去り、泰を去る。

【大体の意味内容】世界を征服しようとして陰謀を張り巡らせようと、そのようなことは本当には達成できないものだ。天下は神聖な器である。人の所為でどうにかなるものではなく、思いのままに操れるものでもない。人為的に支配しようとするれば、深刻な害を招く。恣に搾取しようとするればかえって失ってしまう。なべて物事は、先行するものがあればその後につき随ってくるものもある。たおやかなそよ風のような流れもあれば、吹きすぎぶ嵐のような動乱もある。剛強なるものもあれば柔弱なものもある。あるものは生成発展し、あるものは衰弱消滅する。(こうした遊働自体が天下のバランスを為すのであって、欲得づくで世界を支配しようなどとは、浅はかで、罪深い愚行である。)それゆえ聖人は、ゼロか百かで対処しようとする極端な思考法を用いない。遊働バランスを崩すような、過度の消費はしない。己を神格化するような傲慢さを持たない。

『ちびまる子ちゃん』の作者さくらももこさんが今年2018年8月15日に亡くなられ、大騒ぎになってようやく落ち着いてきたところでしょうか。私はそれほど熱心に見ていたわけではありませんが、名曲「おどるポンポコリン」の、そのタイトルは衝撃でした。「おどる」と「ポンポコリン」。文法的には結びつくはずがない、意味的にも無関係なこの二つの語が、だれも異論をはさめないほどびったりとおさまっていて、しかもとんでもないエネルギーを発散させてきました。多分、永久に滅びることのない歌曲として伝わり続けるでしょう。決して天才ぶらないけれど、本当の天才だったのだと思われれます。

世界には、自分(たち)の利益のためには手段を選ばず、他者を利用したり陥れたり、搾取したり

する人々が後を絶ちません。小さな規模のものからグローバルな規模まで、次々と現れては、途中で消えてゆきます。その繰り返しですが、その繰り返しは、止む気配がありません。

いついた題のようなものから自由であるためには、さまざまな情報を冷静に受け止めたり、多くを知ったり、読書を通じて多角的な思考力を鍛えてゆへことも大事です。ですが、危しいものに対して鋭く対抗する術を身に着けるだけではない。「おひるポンポコ」のような、柔らかなくすぶるものを受け容れ包み込んでゆへ、奥深い陽気なこそが、**案外、無敵**なのかもしれません。